新日軽 大型伸縮門扉「メガゲート」取付説明書（角地納まり用）

取説番号 ME-1986
改-1

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為この取付説明書をお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。

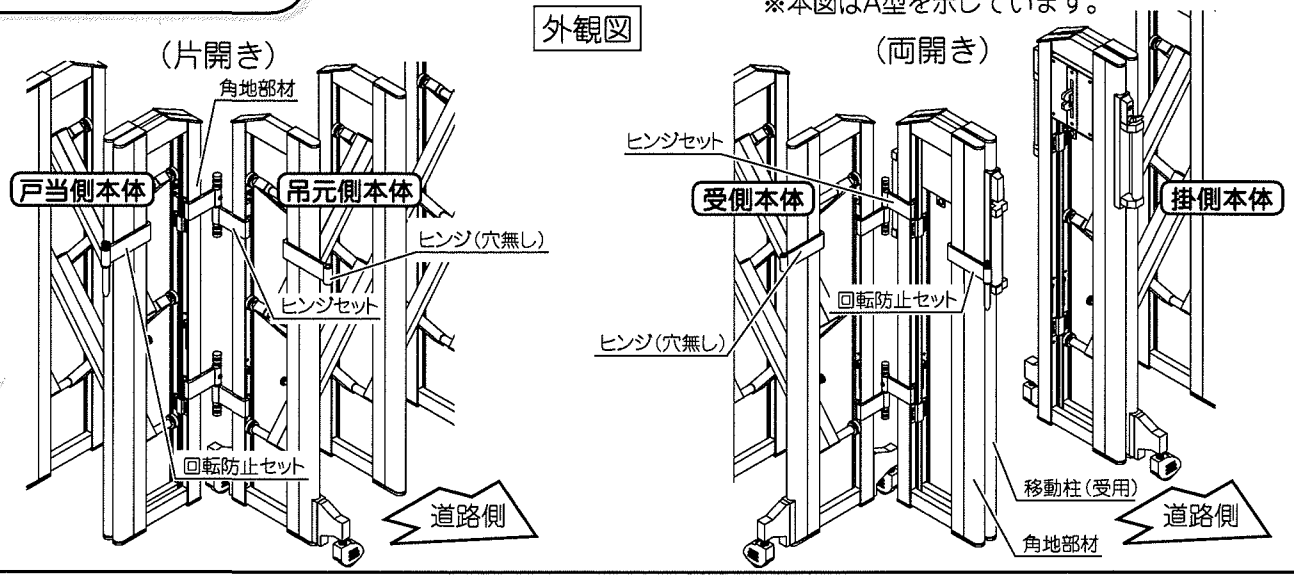
この取付説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。

絵表示	ご使用上の注意とお願い
❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

姿図

※本図は右勝手、出隅納まりを示しています。
※本図はA型を示しています。



部品明細

■角地セット　片開き用

名称		略図	数量 A型	数量 B型・C型
角地部材			1	1
ヒンジセット			小:2	2
回転防止セット			大:1	1
角地ヒンジ取付ネジ M6×12L・M6×8L		パイント小ネジ	12L:16 8L:8	12L:12 8L:4
落し棒			2	2
落し棒受け			4	4
取付説明書（角地納まり）			1	1
ヒンジセット組替部品	ヒンジ大（単品）	穴有り	大:2	
	平座金		4	
	トラスタッピンネジ M4×10L（3種）		2	

※ヒンジセット組替部品は使用しない場合があります。

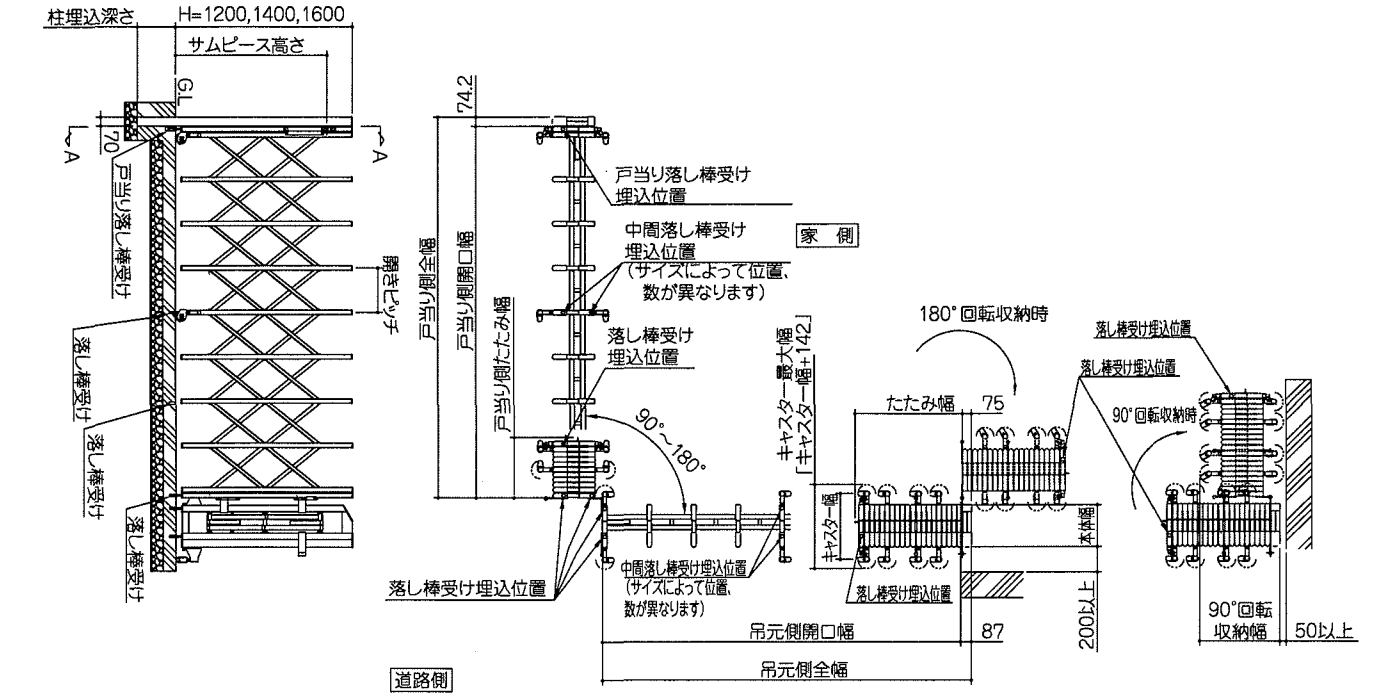
■角地セット　両開き用

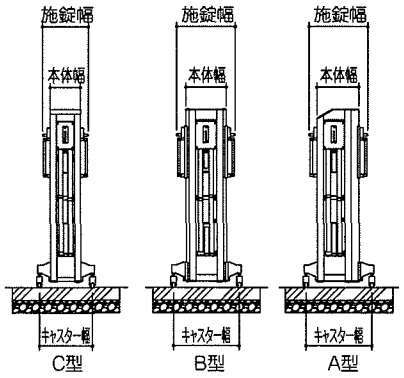
名称		略図	数量 A型	数量 B型・C型
角地部材			1	1
ヒンジセット			小:2	2
回転防止セット			大:1	1
角地ヒンジ取付ネジ M6×12L・M6×8L		パイント小ネジ	12L:16 8L:8	12L:12 8L:4
落し棒			3	3
落し棒受け			3	3
取付説明書（角地納まり）			1	1
ヒンジセット組替部品	ヒンジ（単品）		大:2	
	平座金		4	
	トラスタッピンネジ M4×10L（3種）		2	

納まり図・規格寸法表

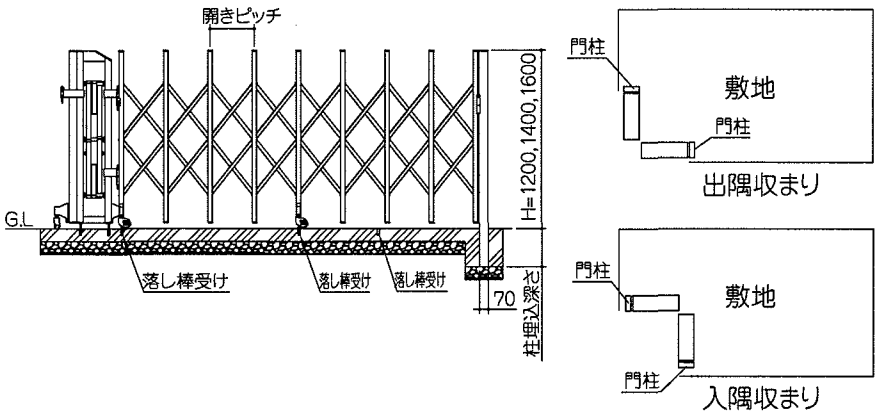
※ 本図は外観 右勝手・内収納・出隅納まりを示します。

片開き角地





A-A矢視図



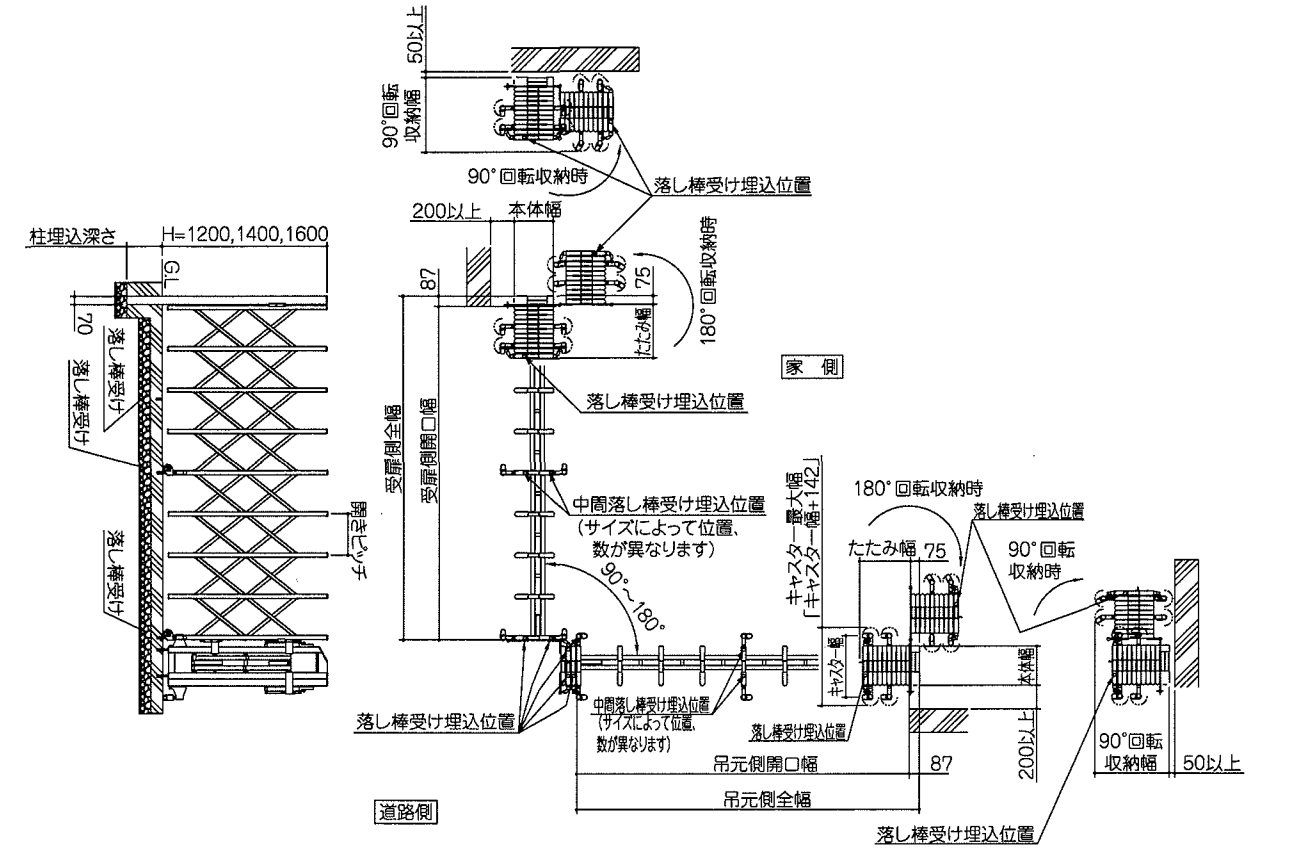
キャスター式 基礎寸法表

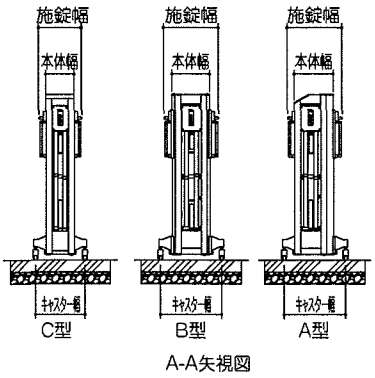
本体	H	本体幅	本体最大幅（キャスター最大幅）	90°回転収納幅	キャスター幅	施錠幅	柱埋込深さ	サムピース高さ
A型	12	330	662	632	520	464	300	999.5
	14	330	662	632	520	464	300	1199.5
	16	380	712	682	570	514	300	1064.5
B型	12	320	662	622	520	464	300	999.5
	14	320	662	622	520	464	300	1199.5
	16	370	712	672	570	514	300	1064.5
C型	12	240	562	532	420	364	300	999.5
	14	240	562	532	420	364	300	1199.5
	16	240	562	532	420	364	300	1064.5

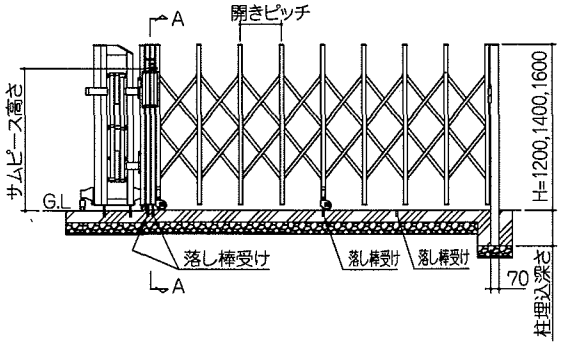
納まり図・規格寸法表

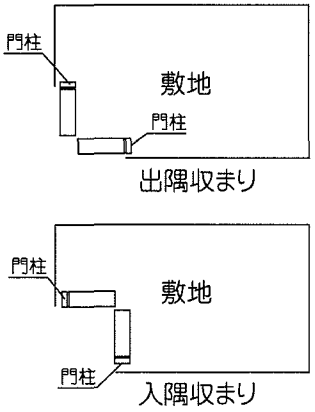
※ 本図は外観 右勝手・内収納・出隅納まりを示します。

両開き角地









キャスター式 基礎寸法表

本体	H	本体幅	本体最大幅 (キャスター最大幅)	90°回転収納幅	キャスター幅	施錠幅	柱埋込深さ	サムピース高さ
A型	12	330	662	632	520	464	300	999.5
	14	330	662	632	520	464	300	1199.5
	16	380	712	682	570	514	300	1064.5
B型	12	320	662	622	520	464	300	999.5
	14	320	662	622	520	464	300	1199.5
	16	370	712	672	570	514	300	1064.5
C型	12	240	562	532	420	364	300	999.5
	14	240	562	532	420	364	300	1199.5
	16	240	562	532	420	364	300	1064.5

規格寸法表

※表内の「R」は本体(標準)右勝手又は右勝手用戸当柱、「L」は本体(標準)左勝手又は左勝手用戸当柱を示します。
※勝手に左右があるのはA型のみです。

片開き角地　A型・B型・C型

片開き角地(H1200)の場合:組合せの合計が28スパンを超える組合せは、強度上できません。
片開き角地(H1400・1600)の場合:組合せの合計が24スパンを超える組合せは、強度上できません。

H1200

呼称		全幅		180°回転開口幅		開きピッチ	たたみ幅	本体組合せ					本体	移動柱		角地セット
		戸当側	吊元側	戸当側	吊元側		吊元側	10スパン 320	14スパン 440	18スパン 560	スパン戸当側 R(L)	スパン吊元側 R(L)		掛用 R(L)	受用	片開き
片開き	630S	3203	3115	3129	3028	300	1006	2			10	10	2	1	—	1
	750S	3203	4315	3129	4228	300	1166	1	1		10	14	2	1	—	1
	870S	4403	4315	4329	4228	300	1326		2		14	14	2	1	—	1

H1400

呼称		全幅		180°回転開口幅		開きピッチ	たたみ幅	本体組合せ					本体	移動柱		角地セット
		戸当側	吊元側	戸当側	吊元側		吊元側	8スパン 300	12スパン 440	16スパン 580	スパン戸当側 R(L)	スパン吊元側 R(L)		掛用 R(L)	受用	片開き
片開き	590S	3003	2915	2929	2828	350	846	2			8	8	2	1	—	1
	730S	3003	4315	2929	4228	350	1006	1	1		8	12	2	1	—	1
	870S	4403	4315	4329	4228	350	1166		2		12	12	2	1	—	1

H1600

呼称		全幅		180°回転開口幅		開きピッチ	たたみ幅	本体組合せ					本体	移動柱		角地セット
		戸当側	吊元側	戸当側	吊元側		吊元側	8スパン 300	12スパン 440	16スパン 580	スパン戸当側 R(L)	スパン吊元側 R(L)		掛用 R(L)	受用	片開き
片開き	590S	3003	2915	2929	2828	350	846	2			8	8	2	1	—	1
	730S	3003	4315	2929	4228	350	1006	1	1		8	12	2	1	—	1
	870S	4403	4315	4329	4228	350	1166		2		12	12	2	1	—	1

両開き角地　A型・B型・C型

両開き角地(H1200)の場合:組合せの合計が56スパンを超える組合せは、強度上できません。
両開き角地(H1400・1600)の場合:組合せの合計が48スパンを超える組合せは、強度上できません。

H1200

呼称		全幅		180°回転開口幅		開きピッチ	たたみ幅		本体組合せ					本体	移動柱		角地セット	落し棒セット
		掛扉側	受扉側	掛扉側	受扉側		掛扉側	受扉側	10スパン 320	14スパン 440	18スパン 560	スパン戸当側 R(L)	スパン吊元側 L(R)		掛用 R(L)	受用 L(R)	両開き	H12 H14用
両開き	620W	3164	3115	3077	3028	300	516	534	2			10	10	2	1	1	1	—
	740W	3164	4315	3077	4228	300	516	694	1	1		10	14	2	1	1	1	—
	860W	4364	4315	4277	4228	300	676	694		2		14	14	2	1	1	1	—
	980W	4364	5515	4277	5428	300	676	854		1	1	14	18	2	1	1	1	—
	1100W	5564	5515	5477	5428	300	836	854			2	18	18	2	1	1	1	—
	1230W	6209	6160	6122	6073	300	961	979	4			10+10	10+10	4	1	1	1	4
	1350W	6209	7360	6122	7273	300	961	1139	3	1		10+10	10+14	4	1	1	1	4
	1470W	7409	7360	7322	7273	300	1121	1139	2	2		10+14	10+14	4	1	1	1	4
	1590W	7409	8560	7322	8473	300	1121	1299	1	3		10+14	14+14	4	1	1	1	4
	1710W	8609	8560	8522	8473	300	1281	1299		4		14+14	14+14	4	1	1	1	4

H1400

呼称		全幅		180°回転開口幅		開きピッチ	たたみ幅		本体組合せ					本体	移動柱		角地セット	落し棒セット
		掛扉側	受扉側	掛扉側	受扉側		掛扉側	受扉側	8スパン 300	12スパン 440	16スパン 580	スパン戸当側 R(L)	スパン吊元側 L(R)		掛用 R(L)	受用 L(R)	両開き	H12 H14用
両開き	580W	2964	2915	2877	2828	350	436	454	2			8	8	2	1	1	1	—
	720W	2964	4315	2877	4228	350	436	614	1	1		8	12	2	1	1	1	—
	860W	4364	4315	4277	4228	350	596	614		2		12	12	2	1	1	1	—
	1000W	4364	5715	4277	5628	350	596	774		1	1	12	16	2	1	1	1	—
	1140W	5764	5715	5677	5628	350	756	774			2	16	16	2	1	1	1	—
	1290W	5809	7160	5722	7073	350	801	979	3	1		8+8	8+12	4	1	1	1	4
	1430W	7209	7160	7122	7073	350	961	979	2	2		8+12	8+12	4	1	1	1	4
	1570W	7209	8560	7122	8473	350	961	1139	1	3		8+12	12+12	4	1	1	1	4
	1710W	8609	8560	8522	8473	350	1121	1139		4		12+12	12+12	4	1	1	1	4

H1600

呼称		全幅		180°回転開口幅		開きピッチ	たたみ幅		本体組合せ					本体	移動柱		角地セット	落し棒セット
		掛扉側	受扉側	掛扉側	受扉側		掛扉側	受扉側	8スパン 300	12スパン 440	16スパン 580	スパン戸当側 R(L)	スパン吊元側 L(R)		掛用 R(L)	受用 L(R)	両開き	H12 H14用
両開き	580W	2964	2915	2877	2828	350	436	454	2			8	8	2	1	1	1	—
	720W	2964	4315	2877	4228	350	436	614	1	1		8	12	2	1	1	1	—
	860W	4364	4315	4277	4228	350	596	614		2		12	12	2	1	1	1	—
	1000W	4364	5715	4277	5628	350	596	774		1	1	12	16	2	1	1	1	—
	1140W	5764	5715	5677	5628	350	756	774			2	16	16	2	1	1	1	—
	1290W	5809	7160	5722	7073	350	801	979	3	1		8+8	8+12	4	1	1	1	4
	1430W	7209	7160	7122	7073	350	961	979	2	2		8+12	8+12	4	1	1	1	4
	1570W	7209	8560	7122	8473	350	961	1139	1	3		8+12	12+12	4	1	1	1	4
	1710W	8609	8560	8522	8473	350	1121	1139		4		12+12	12+12	4	1	1	1	4

施工手順

1 落し棒を取り付ける箇所

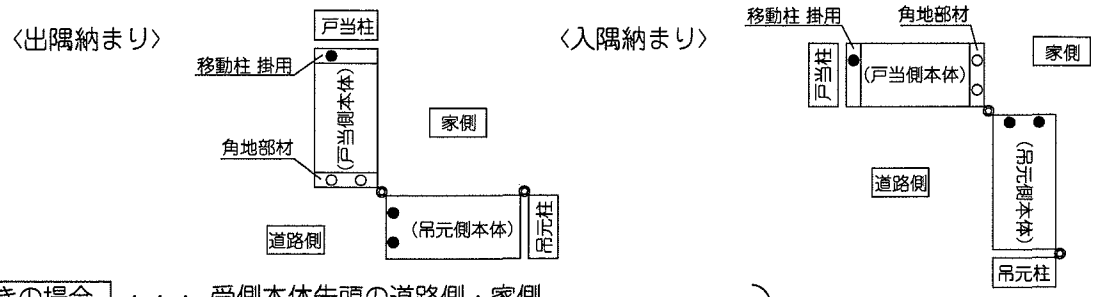
※ 本図は外観 右勝手を示しています。

■下図を参照して、落し棒の取り付け位置を確認してください。

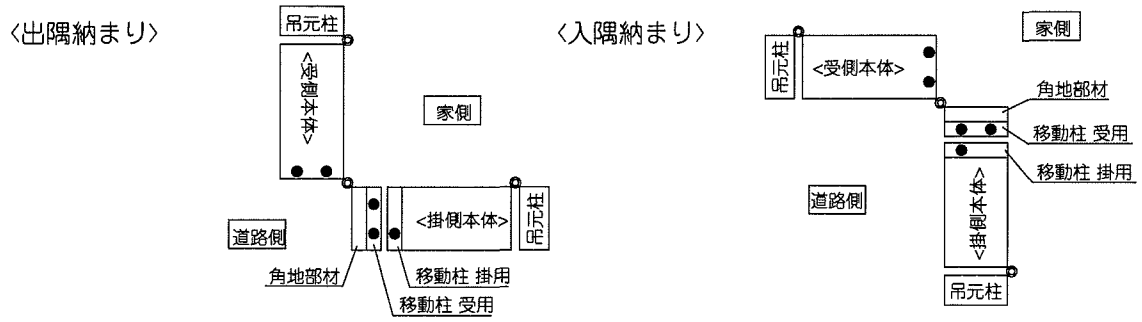
●・・・落し棒を取り付ける箇所　○・・・出荷時に落し棒が取り付いている箇所

(A型の場合はステン色側、B・C型の場合は右勝手の道路側に取り付いています。)

片開きの場合　・・・　移動柱掛用
吊元側本体先頭の道路側・家側の支柱に取り付けてください。



両開きの場合　・・・　受側本体先頭の道路側・家側
移動柱掛用・移動柱受用の道路側・家側の支柱 に取り付けてください。



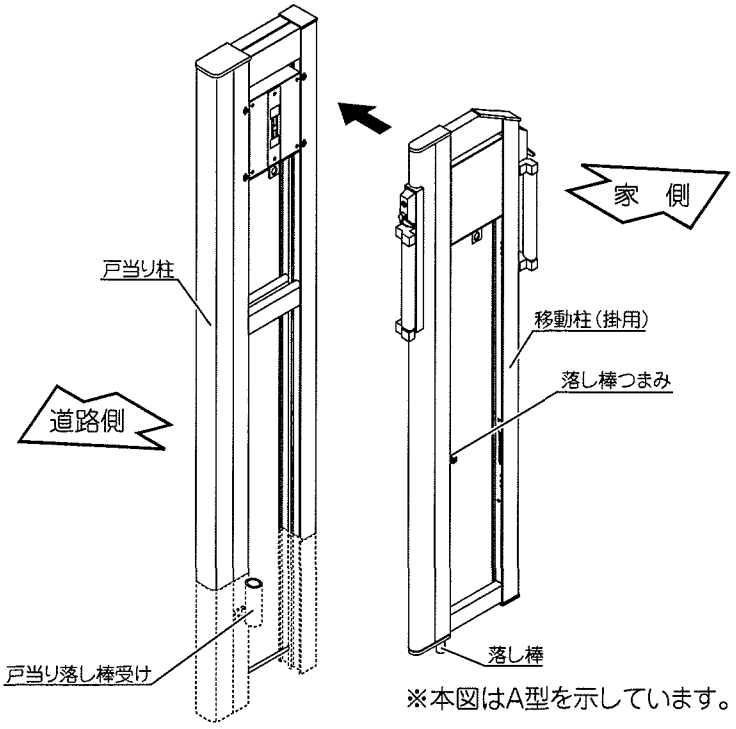
■本体と本体を連結する場合は、2連目以降の本体の先頭に落し棒を取り付けてください。
(取付説明書(本体用)ME-1984のP22 3 落し棒の取りつけ方法」を参照してください。)

■落し棒の取り付けは、取付説明書(本体用)ME-1984のP23「■落し棒の取り付け方」を参照して、取り付けてください。

2 移動柱(掛用)の落し棒の取り付け方法(片開きの場合のみ)

■移動柱(掛用)と戸当り柱を合わせた状態で戸当り柱に取り付けられている**戸当り落し棒受けと同じ側**に落し棒を取り付けてください。

■落し棒の取り付け方は、取付説明書(本体用)ME-1984のP23「3 落し棒の取り付け方」を参照して取り付けてください。



※本図はA型を示しています。

3 本体・角地部材・移動柱の連結方法

両開きの場合の移動柱（受用）には角地部材を連結します。
本体と本体の連結、および移動柱（掛用）の連結は、取付説明書（本体用）ME-1984の「4本体・移動柱の連結方法」を参照してください。本体と吊元柱の取り付けは、取付説明書（本体用）ME-1984の「5ヒンジセット・回転防止セットの組み替え」および「6ヒンジセット・回転防止セットの取り付け」を参照してください。

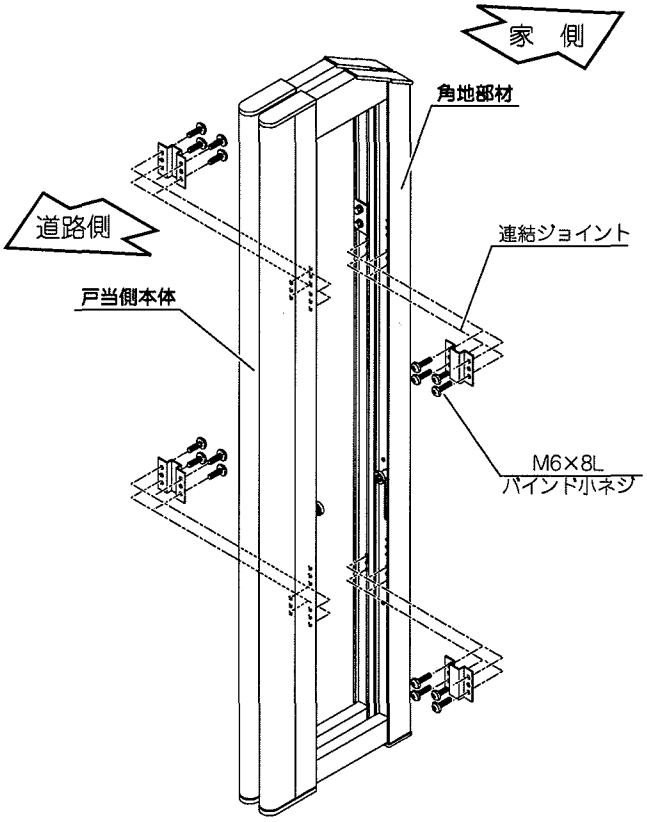
■角地部材の連結

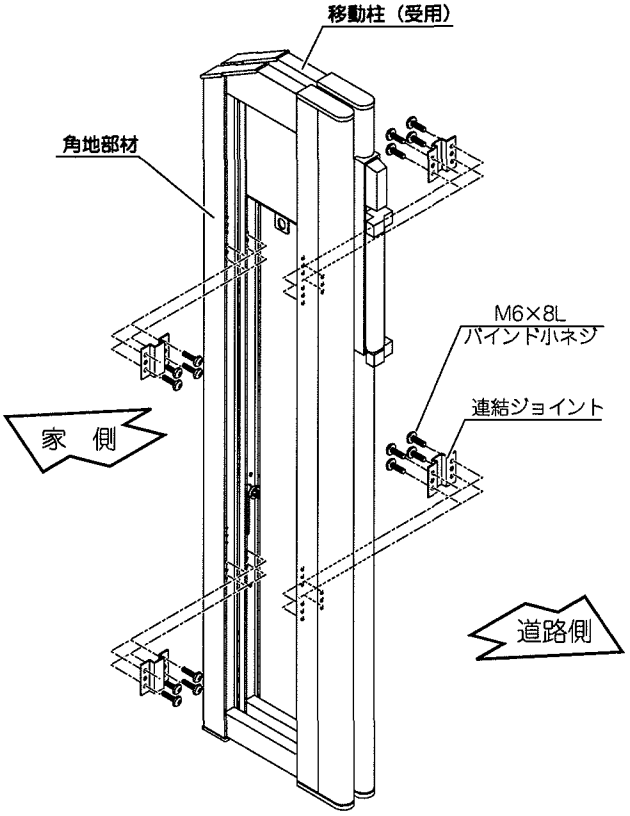
片開きの場合

戸当側本体に角地部材を下図のように連結ジョイントで固定してください。

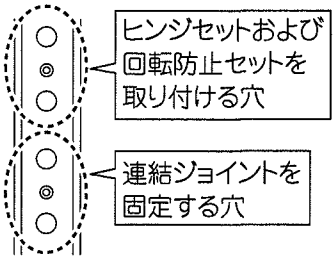
両開きの場合

移動柱（受用）と角地部材を下図のように連結ジョイントで固定してください。





角地部材の連結は下側のネジ穴2箇所を使用してください。

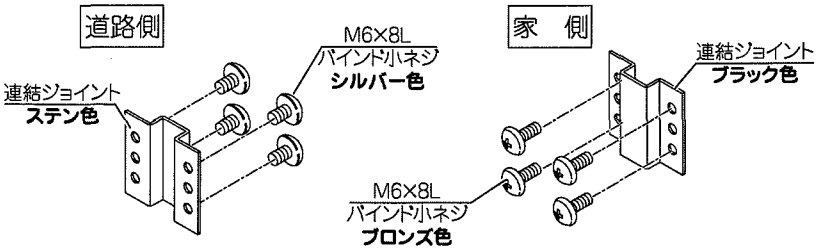


本取付説明書（角地納まり）P1の姿図を参照して角地部材の連結を行ってください。

連結ジョイント、M6×8Lバインド小ネジは、扉本体に同梱されています。

※本図はA型を示しています。

A型の場合のみ、取り付ける部品の色が家側・道路側で異なります。
下図のように取り付けてください。
B・C型は同色です。

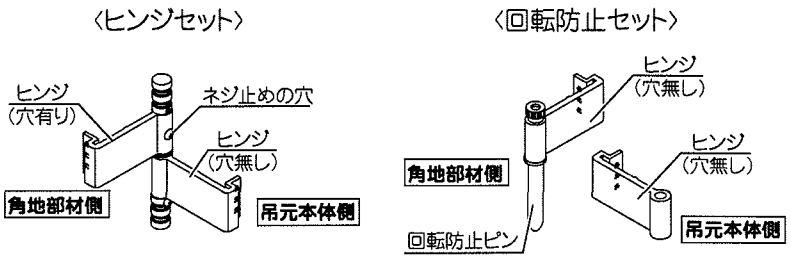


4 片開き角地本体の吊り込み

■ヒンジセット・回転防止セットの組み替え
出隅・入隅納まり、また左右勝手によりヒンジセット・回転防止セットの組み替えが必要な場合があります。
出荷時は右勝手用（出隅納まり）にセットされています。

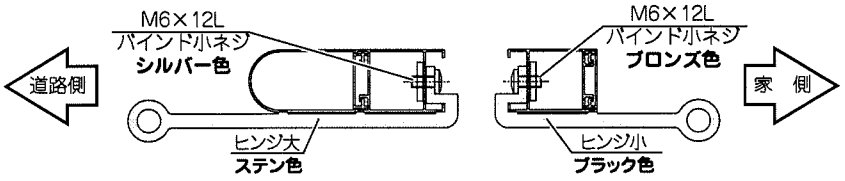
ヒンジセットはネジ止めの穴があるヒンジを上側にして角地部材側に取りつけます。
回転防止セットは回転防止ピンが取り付いている側を角地部材側に取りつけます。

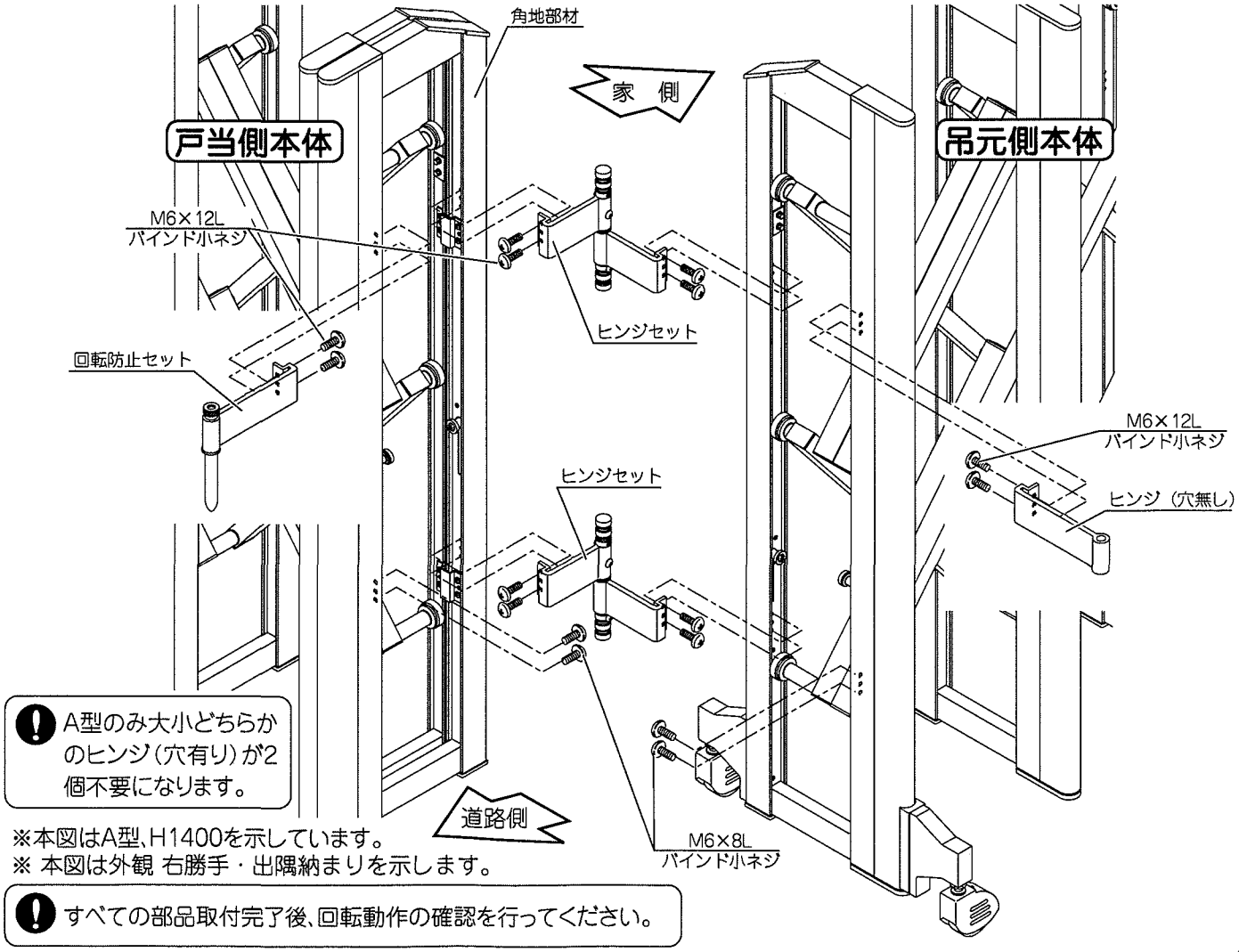
上記のように取り付かない場合は、取付説明書（本体用）ME-1984のP25の「5ヒンジセット・回転防止セットの組み替え」を参照し、組み替えてください。



■片開き角地本体の吊り込み
戸当り側本体と吊元側本体を90°程度回転させた状態で、ヒンジセット・回転防止セットを下図のように、M6×12Lバインド小ネジで取り付けてください。またヒンジが取り付かない箇所には穴隠しのためM6×8Lバインド小ネジを取り付けてください。

A型のみ取付ネジの色、およびヒンジの大きさが道路側・家側で異なります。
右図のように大きさ、色を分けて取り付けてください。
（穴隠しのネジM6×8Lも同様です。）
B・C型は同サイズのヒンジ、同色のネジを取り付けます。





A型のみ大小どちらかのヒンジ（穴有り）が2個不要になります。

※本図はA型、H1400を示しています。
※ 本図は外観 右勝手・出隅納まりを示します。

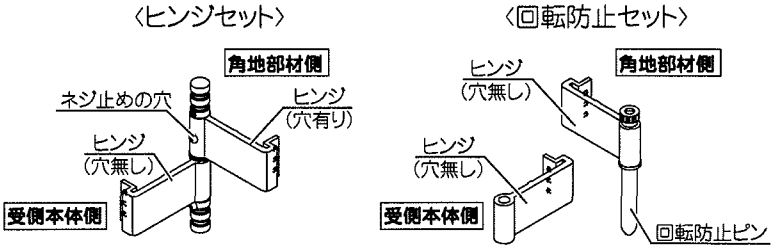
すべての部品取付完了後、回転動作の確認を行ってください。

5 両開き角地本体の吊り込み

■ヒンジセット・回転防止セットの組み替え
出隅・入隅納まり、また左右勝手によりヒンジセット・回転防止セットの組み替えが必要な場合があります。
出荷時は左勝手用（出隅納まり）にセットされています。

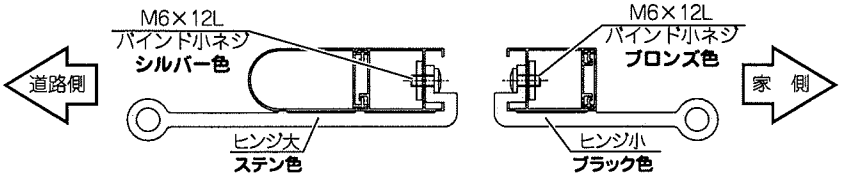
ヒンジセットはネジ止めの穴があるヒンジを上側にして角地部材側に取りつけます。
回転防止セットは回転防止ピンが取り付いている側を角地部材側に取りつけます。

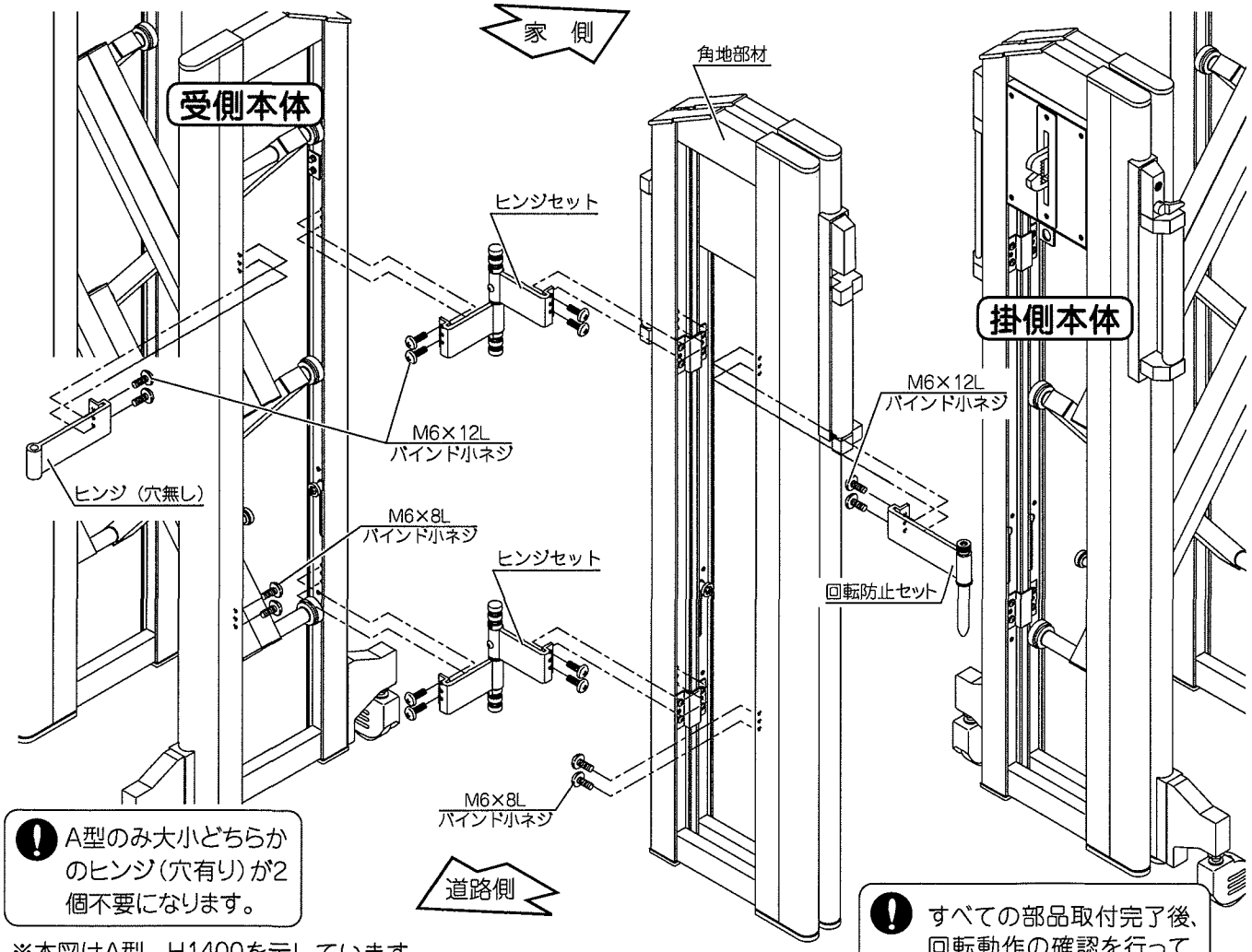
上記のように取り付かない場合は、取付説明書（本体用）ME-1984のP25の「5ヒンジセット・回転防止セットの組み替え」を参照し、組み替えてください。



■両開き角地本体の吊り込み
受側本体と角地部材を90°程度回転させた状態でヒンジセット・回転防止セットを下図のようにM6×12Lバインド小ネジで取り付けてください。また、取り付かない箇所には穴隠しのためM6×8Lバインド小ネジを取り付けてください。

A型のみ取付ネジの色、およびヒンジの大きさが道路側・家側で異なります。
右図のように大きさ、色を分けて取り付けてください。
（穴隠しのネジM6×8Lも同様です。）
B・C型は同サイズのヒンジ、同色のネジを取り付けます。





A型のみ大小どちらかのヒンジ（穴有り）が2個不要になります。

すべての部品取付完了後、回転動作の確認を行ってください。

※本図はA型、H1400を示しています。
※本図は外観 右勝手・出隅納まりを示します。